

| 指標      | 算出式  | 用語解説  |
|---------|--|---|
| 経常収支比率  | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$               | 料金収入や一般会計からの繰入金等で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標。黒字を示す100%以上となることが求められ、100%未満の場合、経営改善に向けた努力が必要となる。                    |
| 累積欠損金比率 | $\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益 - 受託工事収益}} \times 100$ | 営業収益に対する累積欠損金(活動より生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんできず累積した損失)の状況を表す指標。   |
| 使用料単価   | $\frac{\text{下水道使用料}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$          | 使用料の対象水量1m <sup>3</sup> あたりの使用料収入で、使用料の料金水準を示す。   |
| 汚水処理原価  | $\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$ | 有収水量1m <sup>3</sup> あたりに要した汚水処理費用を示す。経年比較や類似団体との比較から、自団体における適正な水準について検討する必要がある、原価が高い場合には、投資の効率化や維持管理費削減、有収水量増加等の取組みが必要。 |
| 経費回収率   | $\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$  | 使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料でまかなえているかを示す指標。経費を使用料で回収している100%以上の状態であることが求められ、100%を下回る場合、使用料収入の適正化やさらなる費用削減等が求められる。               |
| 有収率     | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総汚水処理水量}} \times 100$       | 施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標。100%に近いほど施設の稼働状況が収益に反映されているといえる。数値が低い場合には不明水の流入などの原因を特定し、対策をとることが求められる。                        |